

# 飛躍

森町立旭が丘中学校 第3学年  
学年通信 第8号  
2020年 6月 1日 (月)  
文責 太田 雄司

## 本格的に学校生活スタート！！



休校が明け、学校生活が再開されました。朝から午後まで、全校生徒と一緒に過ごす日々は約3か月ぶりでした。休校期間中、生徒たちは、仲間と一緒に授業を受けたり、休み時間に何気ない話で笑い合ったりする時間をまだかまだかと待ち遠しく感じていたことと思います。休校中に何回か登校日があったとはいえ、5日続けての学校は久しぶりだったので、おそらく心身ともにかなり疲れたはずですが、登下校時や授業中の生徒たちの表情は、とても生き生きと輝いていました。係活動や当番活動など、一つ一つのことに真剣に取り組む姿からは、最上級生、受検生として目の前にあることに全力で取り組んでいこうという強い決意を感じることができました。我々職員も、生徒たちと同じくらいにこの日を待ち望んでいました。教室で生徒を迎えたり、飛躍を読んだりといった何気ない毎日続けることができることを本当に嬉しく思います。生徒と同じ時間を共有し、生徒とともに何かに取り組めることの喜びを感じられる今、教師冥利に尽きるなど実感しています。

学校生活は再開されましたが、新型コロナウイルスが完全に終息したわけではありません。この先も日常生活の多くの場面で様々な制約がされることと思います。学校生活においても、去年までと同じようにはならないことも多々あると思います。しかし、そんな状況でも学校で授業を受けられる。友人たちと笑い合える。そういった一見当たり前と思える日常を送れることに感謝をし、常に全力投球をしてほしいと思います。



さて、先週1週間は、6時間授業。給食・清掃あり。というほぼ通常の日課でしたが、今週からは部活動も始まり、いよいよ本格的な学校生活となります。梅雨が近づき、湿度も上がるため、過ごしにくい時期にはなりますが、しっかりと目標を見据え、一日一日を大切にメリハリのある生活を送れるように支援していきたいと思います。御家庭でも、声掛けと励ましをお願いいたします。

## ☆一つ一つの活動に意欲的に取り組んでいます

